

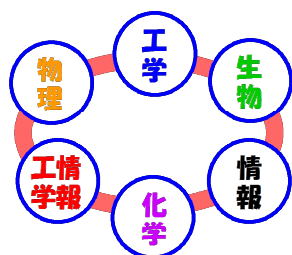


理数科・「活動記録書」始めました！

昨年度、3年生の受験対策で、面接の練習相手や志望理由書の相談や添削を担当して強く確信したことがあります。それは、理数科で学ぶ「科学と工学」や「課題研究」そして学会発表、科学ボランティア等の様々な活動体験から、何を学んだのか、将来にどう生かせるのか、社会にどう生かすか、等について自分の考えを伝えられることが大切だということです。今の時代、「〇〇を体験した」「◇◇に参加した」という人は多くいます。折角、理数科で数多くの貴重な体験を積み重ねていくので、3年生になったときに、鮮明に思い出せるように「活動記録書」に真剣に取り組む、自分自身の進路を実現するための力を身に付けましょう。



理数科1年生、「科学と工学」スタート！



4/14（木）3、4校時から、学校設定科目「科学と工学」の授業が始まりました。玉高理数科ならではの特徴的な授業です。この授業は、1年間にわたって工学と科学に関する6実習に少人数で取り組みます。工学的実習では、「ものづくり」の発想を取り入れて、創造性や発想力の育成を、科学的実習では、物理・化学・生物などの実習を通じて科学的な思考力の育成や実験スキルの習得を目指しています。

【高速液体クロマトグラフの模型で仕組みを説明】

高度な分析機器の原理を理解



理数科1年★科学プレゼンテーション講座★

川崎医科大学と連携し、特別に日本唯一の現代医学教育博物館をお借りして、中部大学の井上徳之教授を講師に科学研究に必要な論理的思考力の基礎となる科学コミュニケーション能力の育成を目指しました。1人1台のiPadを用いて、基本から実践までトレーニングしました。



4月16日（土）に、理数科1年生が、全国でも屈指のプレゼンテーション研修の指導者を講師に科学プレゼンテーション講座を実施しました。今年度は、ティーチング・アシスタント（T.A.）として理数科2年生6名も参加して、1年生は勿論のこと、2年生も素晴らしい体験をすることができました。参観に来て下さった保護者の方には、理数科の活動をお見せできる機会を持てたことに感謝いたしております。また、生徒の生き生きとした活動について、「たまテレ」の取材を受けました。

◆ 4つの極意 ◆

- ①ジェスチャー
- ②ポスター
- ③ボイス
- ④アイコンタクト

午前中は、基本的なプレゼンテーションの型を教わり、6枚のシートを作成しました。生徒は1人1台のiPadを使い、交互に練習を繰り返しながら、少しずつ研修の目標レベルを上げるスモールステップ研修を行い、どの生徒も着実に上達しました。さらに、**プレゼンテーションの4つの極意**を意識することを教わり、生徒たちのプレゼンテーションの質が格段に高まりました。

午後は、博物館の展示を用いた実践的なプレゼンテーション講座でした。**博物館には、日本唯一の現代医学に関する本格的な展示**があり、恵まれた環境の中で、各自が興味を持った展示内容について、友人たちの前でプレゼンテーションを繰り返し、実践経験を重ねました。最後にはどの生徒も堂々としたプレゼンテーションができるようになり、大きく成長した姿が見られました。プレゼンテーションが苦手な生徒も意欲が高まり、友人とのコミュニケーションも活発になりました。



【プレゼンの基本練習】



【2年T.A.がワークシートの指導】



【展示室でプレゼン実践練習】